

令和4年度
消防ポンプ自動車（CD-I型）の製造
仕様書

市川市消防局
企画管理課

目 次

1 総 則	1
2 仕 様	2
3 検 査	1 2
4 保 証	1 3
5 そ の 他	1 3
6 別 表	1 4

第1 総 則

- 1 この仕様書は、市川市消防局（以下「当局」という。）が令和4年度に整備する消防ポンプ自動車（CD-I型）（以下「車両」という。）の製造及びこれらに関する仕様について定める。
- 2 車両は、この仕様書がすべて満足されるものでなければならない。
- 3 車両は道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準その他関係法令に適合し、かつ消防防災施設等整備費補助金交付要綱に定める車両の規格に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。
- 4 受注者は、製造に先立ち本仕様書について当局と協議を行い、細部について確認を行うこと。なお、本仕様書に変更の必要を認めるときは確認の図書（議事録等）を取り交わすこと。
- 5 製造途上に生じた疑義は、受注者、発注者が協議のうえ誠意を持って対処し、必要に応じて指示又は承認を受けるものとする。

6 提出書類

- (1) 受注者は製造に先立ち、次の製作図書を90日以内に提出し承認を受けるものとする。

ア 着工届	1部
イ 内訳書	3部
ウ シャシ及びポンプ等諸元表	3部
エ ポンプ関係図（真空ポンプ含む）	3部
オ シャシ及びポンプ本体組立図	3部
カ 配管図	3部
キ 動力伝達装置関係図	3部
ク 電気配線図	3部（ヒューズ系統図及び使用電 流一覧表含む）
ケ 製作工程表	3部
コ ぎ装図	3部
サ その他当局の指示するもの	

- (2) 完成納入時、次の書類を提出する。

ア 完成図	3部
イ 完成配線図	3部
ウ 受託試験の成績表（ポンプ、真空）	3部
エ 各種取扱い説明書（シャシ、ポンプ）	2部
オ 各種保証書	1部
カ 諸元表（シャシ、積載品等）	3部
キ 塗装の工程写真	1部

- ク 完成車両の写真 3部
提出写真は①前後、②左右、③車両上部をA4用紙にカラー印刷したものとすること。
- ケ 各種検査写真
- コ その他当局の指示するもの。

第2 仕様

1 シャシ

- (1) シャシはダブルキャブハイルーフ型とし、2022年製シャシで、消火・救助活動等に必要な各種装備品を設け、災害時における諸活動を迅速に行える構造とし、十分な耐久性を有し、車両総重量の状態における使用に耐え得るものであること。
- (2) シャシの基準寸法
- | | |
|-----------|----------|
| ア 全長 | 6.00m 以下 |
| イ 全幅 | 1.95m 以下 |
| ウ 全高 | 3.00m 程度 |
| エ ホイールベース | 2.00m 以上 |
| オ 車両総重量 | 7.50t 未満 |
- (3) 消防専用シャシとして承認を受けたもの
- (4) エンジン性能
- | | |
|--------|---|
| ア エンジン | ディーゼルエンジン
(メーカー最新の排ガス規制に適合した低公害車であること) |
| イ 最高出力 | 110kw以上 |
| ウ 総排気量 | 4000cc以上 |
- (5) 定員 5名以上
- (6) 駆動方式 4輪駆動(2駆切替可)
- (7) ミッション形式 マニュアルトランスミッション
- (8) キャブ装置 4ドアダブルキャブ型、電動油圧チルト装置付き
- (9) タイヤ オールシーズンタイヤ
- (10) バッテリー 消防専用シャシ適合品(バッテリーメインスイッチ付き)
24V-100AH以上
- (11) ブレーキ 4輪ABS装置付き。駐車ブレーキを引かずにドアを開放した際に警報を発する装置を取り付けること
- (12) フロント及びリアサスペンションの強化

2 装備品

- (1) パワーステアリング
- (2) 坂道補助発進装置
- (3) 電動格納式ミラー(熱線入り)
- (4) 電動キャブチルト装置(支え棒付)

- (5) 後退警報装置
- (6) バッテリーメインスイッチ
- (7) エアコン
- (8) カーナビゲーション、AM・FM ラジオ（テレビ機能が付いていないもの）
- (9) バックアイカメラ
- (10) LEDヘッドランプ・LEDフォグランプ
- (11) フロントメッキグリル、カラードバンパーメッキガーニッシュ
- (12) 牽引フック（可能な場合車両前後部）
- (13) サンバイザー（左右）
- (14) サイドバイザー
- (15) 泥除けゴム
- (16) ナンバーフレーム
- (17) 集中ドアロック（全ドア）
- (18) LEDテールランプ

3 付属品

- (1) フロアーマット
- (2) スペアタイヤ
- (3) タイヤチェーン
- (4) ブースターケーブル
- (5) 標準工具（ジャッキ付）
- (6) 非常停止板
- (7) 牽引ワイヤー

4 車体の構造

- (1) 車体の構造は、両側面各1面のシャッターを設けたシャッター構造とする。
- (2) 車体は、堅牢で十分な強度及び安定度を有し、機動性、耐久性、耐食性に優れ、重量バランスに優れたもので、常時登録された車両総重量の状態において、充分耐え得るものであること。

また、車体の主要構造体であるサブフレームは鋼鉄製とし、それ以外の車体フレーム等は全てアルミニウム素材を使用し総体的な重量軽減を図るとともに、車体の重量バランスにも配慮すること。

- (3) 車体フレームの主要構造体は、アルミニウムパネルにて構成された独立した左右の環状パネルフレームを結合し、構造体の強度は環状パネルフレームそのものと、左右各1本の支柱のみで担保し、その他の支柱、梁、壁等は強度部材として一切必要としない内部レイアウトの自由度の高い構造とすること。

なお、アルミニウム素材の使用にあたり応力や振動を緩和する装置を設けること。

- (4) 車体に使用するアルミニウムパネルは防錆処理（アルマイト処理）を施したものとすること。

- (5) 骨組みは、完全に自立する構造とし、側板、腰板等に直接大きな荷重を負担させないこと。
- (6) 車両上部及び各ステップ類は、すべてアルミ縞板を使用すること。
- (7) ボデーに取付ける部品の取付けボルト及びビス類は、全てステンレス製を使用することとし、貫通部分で危害を及ぼす部分は袋ナットを使用すること。
- (8) 蹴り込み部等塗装剥離の恐れがある箇所には、ステンレスまたはアルミ板等の保護板を張ること。
- (9) 側板とステップの交わる部分に水が滞留しない構造とすること。
- (10) 十分な錆止め処理を施し、錆の発生を防止する処置を施すこと。また、部品等の取り付け合わせ目部分は、全てコーキング処理を施し水等の侵入を防止するようにすること。
- (11) ステップは、端部周辺を折り曲げ、切断面の返りは仕上げ処理をし、身体に危害が及ばないように入念に仕上げること。
- (12) 坂道勾配を考慮し、アプローチアングル及びデパーチャーアングルを確保すること。
- (13) バッテリーは、点検及び交換が容易に行えるよう引き出し式とすること。(サイドステップ一体型) なお、バッテリー端子部分及び上面に、保護カバー等を設けること。
- (14) 全輪に泥除けを取り付けること。

5 ぎ 装

(1) キャブ外観ぎ装

- ア 消防章(危害防止板付 色は黒)を、キャブ前面に取り付けること。
なお、大きさについては別途協議
- イ グリルはメッキ加工、バンパーはカラードバンパー及びメッキガーニッシュとし、可能な限りバンパーを張り出して、上部に縞板を貼り付けること。
- ウ キャブルーフはGFRP製ハイルーフとし、散光式赤色警告灯一体型とする。
また、ハイルーフ両側面に隊名標識(緑色地に白文字)を設けること。
- エ キャブフロントに赤色補助点滅灯、キャブ両側面上部(後部座席ドア上部付近)に補助赤色点滅灯を取り付けること。
- オ キャブフロント上部及び両側面に乗降用グリップ(メッキ)を設けること。
- カ バンパー左右両側面に赤色点滅灯を取り付けること。
- キ キャビン後部は張出式とし、壁面に呼吸器3器を強固に取り付け(面体フック含む)、且つ簡単に脱着できるワンタッチ式とすること。また面体には収納バックをつけること。
- ク 助手席側サイドミラー上部、またはサイドミラーステー部に、隊長用ミラーを取り付けること。

(2) キャブ室内ぎ装

- ア 前席中央部にセンターコンソールボックス(コンパクトタイプ)を設置するこ

と。センターコンソールボックス及びインダッシュに無線機及びAVM装置を操作し易いよう取り付けること。電装品スイッチは、運転席から操作が容易に行える構造・位置とし、スイッチ類には必要な照明及び名称表示をすること。また、後部隊員用に広報マイクを取り付けること。

イ キャブ室内に隊員用のLED照明を設けること。

ウ 運転席、助手席にフレキシブルライトを取り付けること。

エ 運転席右側上部にフレキシブルマイクロホンを取り付けること。

オ 隊長及び運転者用のヘルメットフック（隊長2、運転者1、計3個）を設けること。

カ 呼吸器固定装置を助手席（空気呼吸器内蔵型シート）に1基、後部座席に3基設け、助手席の居住性を最大限確保すること。

キ 後部座席背もたれは上下落としこみ式又はカット式とし、座席下はシート開閉式収納ボックスとすること。

ク 後部座席は跳ね上げ式とすること。

ケ 携帯型拡声器、警戒棒及びゴム手袋ケース用のホルダーを必要数設置すること。

コ 座席シートには、汚れ等が付着した際も簡単に除去できる汚染シートカバーを（青×黒）張ること。

サ ハイルーフ部には収納物が落下しない措置を講じた（扉等を設ける）大型の収納棚を設けること。収納棚内には、A3の図書が収納できるよう仕切りを設けること。

シ 前後の座席間にパンチングメタルを2枚（運転席側及び助手席側。センター部を開けて設置）設けること。

(3) 電装関係

ア 運転席の見やすい位置に電圧計及び電流計を設けること。

イ 各電装品のヒューズボックスを点検のしやすい位置に増設し表示をすること。

ウ 10連スイッチを設けること。取り付け場所、スイッチの並びについては別途協議。

エ モーターサイレン（自動吹鳴）のトグルスイッチを運転席側上部に取り付けること。

オ 各種スイッチ・計器類の夜間操作が容易に出来るように照明及び名称板を取り付けること。

カ バックアイカメラ（カラー液晶）を取り付けること。

キ ドライブレコーダーを取り付けること。（取り付け位置は別途協議）

ク 外部入力コンセント（防水構造磁石式）を設け、車両バッテリーを充電できるものとし、更にキャブ内に2口コンセント（100V）を設け、各種電装品の充電ができる構造とすること。また、走行中はインバーターによる電源供給（定格出力1口250W以上）ができるものとする。

ケ 可能な限り車両四隅に障害物接近警報センサーを取り付けること。（取り付け位置は別途協議）

(4) 収納庫、資機材収納ボックス類

- ア 車体両側面、後部をアルミシャッター式（バーハンドル）の資機材収納ボックス及び収納庫とすること。
- イ シャッター内及びボックス内には開閉連動式のLED照明を設け、積載品等により損傷されないよう処置をすること。
- ウ シャッター収納庫内に収納棚（固定式、可動式、引き出し式等）及び仕切り板を設け、ホース、積載品に応じた収納ができる構造とすること。
- エ 棚板には、転落防止のため折り返しを設け、転落防止用ワンタッチ式ベルトを必要数設けること。
- オ 車体側面アルミシャッター内（左右）にアルミまたはステンレス製のパイプを通し、またはフックを取り付け、防火服等を掛けられる構造とすること。
- カ 後部収納庫内は電動油圧昇降装置を取り付け、加納式ホースカーを収納できる構造とする。また、ホースカー収納部の空きスペースを有効に活用し、空気ポンプその他の資機材を収納できる構造とする（脱落防止措置に配慮すること）こと。
- キ 車体上部にアルミ製の資機材収納ボックスを必要数取り付けること。
- ク 車体上部のアルミボックス蓋上部に担架が固定できるようにすること。
- ケ 車体下部に収納ボックスを設け、ボックスの扉は、開いた状態でステップとして使用できるよう強固に製作すること。なお、各ボックスにあつては必要に応じ二重ロックとすること。
- コ 車体左右リヤフェンダー一部は展開でき、扉の開いた状態でステップとして使用できるよう強固に製作すること。
- サ 車体下部収納ボックスの枠には黄色または、赤の反射テープを貼ること。
- シ 各ボックス（車上ボックス含む）内には樹脂製スノコ板を敷くこと。
- ス 車体側面は嵩上げ加工を施すこと。
- セ 車体両側面嵩上げ部及び後部に赤色点滅灯を取り付け、散光式赤色警光灯と連動で作動する構造とする。車体両側面及び後部の赤色点滅灯は、減光調整が可能なものとし、さらに運転席で入・切できるものとする。
- ソ 作業灯を取り付け、側面作業灯のスイッチは側面に設けて、後部照明灯は運転席および後部でそれぞれ入・切ができる三路方式のスイッチとすること。
- タ 車体両側面嵩上げ部及び後部に取付けする赤色点滅灯及び照明灯、並びに照明灯と一体の赤色点滅灯（照明灯と一体のもの）は、当局と打合せた位置へ取り付けるものとする。
- チ 車体上部にアルミ縞板を張り、必要な手摺りを取り付け、十分な強度を有する構造とすること。
- ツ 車体上部にロープを結べるようフックを必要数取り付けること。
- テ 車上に昇降するための展開梯子を車両後部に取り付けること。
- ト 車体両側板は嵩上げ加工を施し、シャッター内の開口面積を最大限確保するため、シャッターの巻取り装置は嵩上げ部分に隠蔽する構造とすること。
- ナ 車体上部に棒吸管を収納するためのアタッチメントを取り付けること。

(5) ポンプ室

ア ポンプ室には容易に水が浸入しない構造とすること。

イ ポンプ室上部に容易に点検ができるよう十分な大きさの点検口を設けること。

(6) 梯子

車体上部に3連梯子及び鍵付き梯子が収納できる梯子昇降装置を設置し、梯子昇降装置は後部引き出し回転式梯子昇降装置(ダンパー方式)として、容易に積降ろしできる構造とすること。また、キャブチルト時に梯子と干渉しないインターロック装置を設けること。

(7) 消防無線装置等の取り付け作業を行うこと。

ア 消防無線装置本体(デジタル機)及び空中線等必要部材は現行車両からの積載替えとすること。(その他、支給品以外に必要な部材等が生じた場合は受注者側が用意すること。)また、外部スピーカー、外部無線機を車両両側面に取り付け、内・外のスピーカー切り替えスイッチを設けること。なお、取り付けについては別途協議。費用については受注者側が負担すること。

イ 車両動態表示システム(AVM)は現行車両からの積載替えとすること。(その他、支給品以外に必要な部材等が生じた場合は受注者側が用意すること)なお、取り付けについては別途協議。費用については受注者側が負担すること。

ウ 上記作業について、作業工程等は受注者側が調整を図るものとする。

(8) その他

ア 車体取り付け品は、落下防止のため二重ロック構造とすること。

イ キャブチルト装置は電動油圧式とし、エンジンの点検整備が容易にできるものとする。

ウ 各種装備品の車体への取り付け等については、当局と別途協議すること。

エ シャシへの改造を行う時は、シャシメーカーの架装要領に従い施工し、必要により補強すること。

オ 車体ぎ装による最低地上高は、できるだけ高く設定すること。

6 各種照明装置

(1) サーチライト

当局の指示する場所にLEDサーチライト1式を取り付けること。

サーチライトは上下伸縮式で任意の方向を照射でき、固定用のロックネジを設ける。スイッチはそれぞれ個別に設け、保護枠付きで防水構造であること。

(2) 可搬式投光器一式

車両より離れた場所での夜間照明確保のため可搬式投光器を一式装備すること。

ア 電 球 LED充電式ランプ一式(三脚一体型) N o m a d 3 6 0

イ 配 線 防水型ドラム式コードリール30m

ウ 発動発電機 約900W型

7 ホースカー

本体は電動式ホースカーで、65mmホースを9本以上積載でき上部に各資機材（予備ポンベ等）を積載可能な構造とすること。ホースカーについては電動油圧式昇降装置で積載できること。また、本体に管そう及び分岐管の積載金具を取り付けること。なお、未収納確認灯をキャブ内に設けること。

8 ポンプ装置、配管関係

(1) 主ポンプ装置関係

ポンプ性能 A-2級インデューサー付高圧二段バランスタービンポンプ

ア 大規模火災・高層建物火災・林野火災時に対応できるよう、放水性能は次のとおりとすること。

① 規格放水量 0.85MPa で 2,500L/min 以上

② 高圧放水量 1.4MPa で 2,100L/min 以上

イ 排水装置は、電動式としP T Oスイッチに連動して作動すること。また、非常用P T Oを使用することで、エンジン停止時にドレンの開放をストップできる構造とすること。

ウ 軸封部は、真空漏れ発生時に増し締めまたは交換が容易に行え、故障時のコストが安価なグランドパッキン方式とすること。

(2) 真空ポンプ

偏心ロータリー無給油式5翼で真空ポンプ1機の排気量1,275cc以上とし、性能等は次のとおりとすること。

ア 規定の吸水管（80mm×10m）を使用し試験をおこなったとき、試験時大気圧の84%に達する時間が15秒以内とすること。

イ 漏気は30秒間に10mm以内とすること。

ウ 真空ポンプの耐久性向上のため、主ポンプと真空ポンプの間に汽水分離器を設け、水や泥などが進入しない構造とすること。

(3) 自動揚水装置

真空ポンプの操作は、計器盤直近に設けた操作盤にておこない、作動ボタンONにより自動的に真空ポンプ駆動に適正な回転まで上昇し、揚水完了と同時にフロースイッチ（圧力検知は不可）により自動停止しアイドルリング状態にもどる構造とすること。なお、操作盤は各メーカー固有のものとする。

(4) ポンプ操作装置

ポンプ操作装置の表示画面は液晶パネル式とし、「真空ポンプ作動状況」、「各放口・中継口・吸水口の開閉状況」、「揚水状況」、「エゼクターの開閉状況」「流量及び積算流量」、「ポンプ回転」等の表示が容易に確認でき、水の流れが容易に確認できる図形式とすること。

なお、主要な操作スイッチ（自動揚水、非常用真空、自動調圧、アイドルリングスイッチ等）は操作が確実な押しボタン式とすること。

(5) ポンプスロットル

ア ポンプスロットルは電子スロットルとし、スロットルの使用状況が把握できるよう液晶モニターに表示できること。

イ ポンプスロットルは、誤作動を防止するため左右ともに右回転でスロットルアップするものとする。

(6) 自動調圧装置

ポンプ圧力を任意に設定し、設定圧力以下になった場合は設定圧力まで圧力を上昇させ、設定圧力以上になった場合は設定圧力まで圧力を下げる任意圧力安定機能及び放水停止時や緊急時等に押すとエンジン回転がアイドリングまで降下するアイドリング機能を設けること。

(7) ポンプ配管

配管の曲部は努めて大きく取り、摩擦損失を最小限に抑えることとし、結合部はフランジを使用し点検整備時に脱着できる構造とすること。

また、各配管は耐久性向上のため亜鉛メッキのどぶ漬け加工を施すこと。

(8) 吸水口

内径 75mm 以上のボールコックとし、電動吸管巻き取り装置（サイドプル方式）及び車両左側に各 1 個設け、電動吸管巻き取り装置は車体に対して垂直方向にポンプ室後方に配置し、左右どちら側からでも容易に引出せ、左右どちら側からでもロック及び解除ができる構造とすること。なお、吸管的取り出しが容易に行えるよう吸管取出し口には金属製の三方ローラー及び巻き取り装置下部には金属製の補助ローラーを設けること。また、電動吸管巻き取り装置の吸管巻き取り速度は一定速度のものとする（チェーンレス方式）こと。

(9) 呼水装置

確認窓付エゼクター装置で放水量 1,000L/0.5MPa（吸水高さ 3.0m）のとき、呼水装置のバルブを全開しても落水せず 60 秒以内に揚水を完了するものとする。

(10) 放水口

内径 65mm ボールコックとし、ポンプ室両側に各 2 個設けること。

(11) 中継口

ポンプ室両側に各 1 個設けることとする。なお、右側の中継口は 65mm ボールコック（エゼクター装置付）とし、予備吸管が接続可能な構造とすること。

また、右側のボールコックには消火栓媒介金具を取り付け、常時中継口として運用するものとする。

(12) 水抜き

主ポンプ及び吸水口、ならびに、中継口の水抜きは PTO 作動に連動させること。なお、放水口の排水装置は左右に各 1 個、手動バルブにて設けること。

(13) 計器

ア ポンプ圧力計及びポンプ連成計（ブルトン管式・バックライト付・耐振型）を左右操作面に取り付けること。

イ 流量計を左右に各 1 箇所設け、左右の液晶操作盤にて流量が確認できること。

- ウ 積算流量計は左右の液晶操作盤にて積算流量が確認できること。
- エ ポンプ回転を左右の液晶操作盤にて確認できること。
- オ ポンプ操作面左右には、有効に照射できる LED 式計器灯を設けること。

(14) 冷却装置

冷却水は 2 系統とし、それぞれに操作バルブ、清掃が容易に出来るストレーナ及び通水が目視できるカップを設けること。

(15) 給脂装置

ポンプグランド部へ給脂出来るグリスポンプを、ポンプ操作部の適当な位置に設けること。

(16) 不凍液注入装置

ポンプ及び真空ポンプ配管の凍結防止のため、不凍液注入装置を設けること。

(17) 泡消火薬剤混合装置

危険物火災及び普通火災に活用できる泡混合装置を装備すること。

ア 泡剤混合方式

操作性及び維持管理に優れたポンププロポーショナル方式とすること。

イ 構造及び諸元

(ア) 吐水配管と吸水配管との間にバイパス経路を設け、その中間に混合バルブ及びポンププロポーショナルを設けること。なお、バイパス配管はφ 25を使用すること。

(イ) ポンププロポーショナルは、危険物火災時の 3%混合及び普通火災時消火剤少量混合用の 0.1%を兼ねるものとする。

(ウ) ポンププロポーショナルは、自然水利、水槽の無圧水及び吸管部署又は他隊からの中継による有圧水においても泡混合ができるものであること。

(エ) 泡混合装置は、すべての泡消火薬剤を使用できること。なお、危険物火災用 3%吸入率を測定設定する場合は、フッ素たん白泡消火薬剤(石油類及び水溶性液体火災用)を基準とすること。

(オ) ポンププロポーショナルの泡剤吸入部に泡剤配管を接続し、泡剤混合比率調整ダイヤルを右側ポンプ操作部付近に設け、分解清掃が容易なものとする。

(カ) 泡消火薬剤の吸引方法は、20Lポリ缶及び簡易水槽等から泡消火薬剤を吸入する外部吸液方式とし、外部吸液ホースの着脱はワンタッチ方式とすること。

ウ 諸元性能等は、次に掲げるとおりとする。

(ア) 危険物火災用 3%適正混合範囲

フッ素たん白泡消火薬剤(石油類及び水溶性液体火災用)の吸入率約 3%において、毎分約 500L から 1000L まで混合でき、すべての発泡器具が使用できること。

(イ) 普通火災用 0.1%消火剤少量混合適正混合範囲

合成界面活性剤泡消火薬剤(クラス AB 兼用仕様)の吸入率約 0.1%において、毎分約 600L 以下から 2000L まで混合でき、すべての放水器具が使用できること。

(ウ) 混合比率調整ダイヤルは、吸入される泡剤の量を所要の量に調整できる機構とし、混合放水量に応じた目盛を次表により操作部付近に表示すること。

エ 諸元性能等は、次に掲げるとおりとする。

(ア) 危険物火災用 3%適正混合範囲

フッ素たん白泡消火薬剤（石油類及び水溶性液体火災用）の吸入率約 3%において、毎分約 500L から 1000L まで混合でき、すべての発泡器具が使用できること。

(イ) 普通火災用 0.1%消火剤少量混合適正混合範囲

合成界面活性剤泡消火薬剤（クラス AB 兼用仕様）の吸入率約 0.1%において、毎分約 600L 以下から 2000L まで混合でき、すべての放水器具が使用できること。

(ウ) 混合比率調整ダイヤルは、吸入される泡剤の量を所要の量に調整できる機構とし、混合放水量に応じた目盛を操作部付近に表示すること。

9 水 槽

(1) 水槽は 1, 300L 以上の GFRP 製の水槽とし、振動及び衝撃等により損傷及び緩み等を生じないように車台に固定し設置すること。なお、水槽上部にはマンホール、内部には水の動揺を防止する防波板を設け、0.03MPa の水圧に対し、変形及び漏れがない構造であること。

(2) 構造は次のとおりとすること。

ア 水槽から主ポンプへ吸水連結管は、内径 65mm 以上としボールコックを設け、車体両側で操作できるものとする。

イ 水槽は自己補給が可能であり、主ポンプ吐水側と内径 40mm 以上としボールコックを介して接続し、車体両側で操作できるようにすること。

ウ 水槽には補給口（65mm 差込メス金具・タンク停止弁付）を水槽左右側面に各 1 箇所設けること。

エ 逆流によるウォータハンマーから水槽を保護するため、タンク吸水コックは電動コックを使用し、吸水口及び中継口とタンク吸水コックが同時に開かないよう制御すること。

オ 水量計は電子水量計とし、左右液晶モニターにて確認ができること。

カ 水槽には、オーバーフローパイプ及び排水バルブ又はコックを取付けること。

キ 水槽内部は、清掃、補修が容易な構造であること。

ク 水槽水取出し口を右補給口付近に 1 箇所設けること。

10 塗装等

(1) 車体は錆落とし等、塗装に必要な下地処理を行い、市川市指定色を 3 回吹き付け塗装し、クリア仕上げを行うこと。（各行程について写真を撮影すること）

(2) 文字の記入については、次の表のとおりとする。

場 所	記入文字	文字書体・色
フロントパネル	市川	丸ゴシック 白反射
車両後部ドア	市川市消防局	丸ゴシック 白反射
車両側面シャッター 及び車体	ICHIKAWA	明朝斜体 白反射黒縁
	SMALL TANK	
	千葉県	丸ゴシック 白反射黒縁
	行徳ポンプ 1 千葉県	
車両後部シャッター 車両後部	市川市消防局	丸ゴシック 白文字黒 縁反射
	行徳ポンプ 1	
	ICHIKAWA CITY FIRE BUREAU	
	FIRE ENGINE	
	行	丸ゴシック 黄色反射

※文字の大きさ、配置場所については別途協議。

- (3) 後部ドア下部及び車体下部収納庫、タイヤハウス下部に黒反射テープを貼付し、後部ドア下部の黒反射テープに「CHIBA」と白反射テープで記入すること。
- (4) 各シャッター枠及び当局が指示する場所に赤色反射テープを貼付すること。
- (5) その他必要に応じ当局の指示する文字及びマークを記入すること。
- (6) ぎ装に際し使用するボルト、ナット類は全てステンレス製を使用すること。
なお、ステンレス製がない場合は当局の指示するボルト、ナット類を使用すること。
- (7) アルミ縞板は、製作前に当局に色合いの承認を得ること。なお、当局の承認が得られない場合には、シルバー塗装を施しウレタンクリアー仕上げを行うこと。

第3 検 査

- 1 中間検査は、ぎ装完成前に当局と協議し実施すること。
- 2 完成検査は、全ぎ装が完了し、積載品等が全て用意された状態で実施すること。
- 3 各検査を受けようとするときは、2週間前までに書類で申請すること。
- 4 各検査には、営業及び技術担当者が立ち合うものとする。
- 5 検査項目

- (1) 性能検査
- (2) ぎ装検査
- (3) 付属品等検査

検査については、社内データをもって代えることができる。検査の結果不合格と認められた箇所については、直ちに修復のうえ再検査を受けること。

第4 保 証

保証期間はメーカーが保証する期間とし、定められていない場合は2年間とする。ただし、シャシ及び製作者側に起因する不都合箇所が生じた場合は保証期間後も無償で修復または修理すること。

第5 そ の 他

- 1 車両の納入場所は当局とすること。
- 2 車両及び積載機器等の使用に必要な付属品等は全て省かず納入すること。また、車両や資機材のメーカー標準付属品についても同様とすること。
- 3 納車時、各種資機材は全て使用可能状態で納品すること。
- 4 仕様内に工業権（特許権）がある場合は、受注者が解決を図ること。
- 5 全ぎ装完了後、陸運局の新規登録検査を受け、合格後納車することとし、一切の費用は、受注者側において負担すること。（重量税、自賠責保険、自動車リサイクル料は納入後、別途精算とする）
- 6 別表に掲げる装備品及び積載品のうち同等品を選定する場合は、当局に同等製品名等を連絡し承認を得ること。

第6 別 表

1 シヤシ (補助対象)

番号	品 名	数量	摘 要
1	シヤシ	1	標準付属品含む

2 シヤシ装備品 (補助対象外)

番号	品 名	数量	摘 要
1	LEDヘッドランプ	1 式	純正品
2	LEDフォグランプ	1 式	純正品
3	バックランプ	1 式	保護カバー付
4	サイドバイザー	1 式	純正品
5	フェンダープロテクター	1 式	純正品
6	デジタル時計	1	純正品
7	泥よけゴム	1 式	純正品
8	エアコン	1 式	純正品
9	サンバイザー	1 式	純正品
10	車両標準工具	1	工具及び油圧ジャッキ
11	フロアマット	1 式	純正品
12	三角反射板	1	純正品
13	工具セット	1 式	KTC SK3561WZR
14	スペアキー	3	リモコンキー×1、板キー×2 キーホルダー含

3 装備品及び積載品 (補助対象)

番号	品 名	数量	摘 要
1	ポンプ圧力計	1 式	左右 照明付き
2	ポンプ連成計	1 式	左右 照明付き (リタード式)
3	エンジン回転計	1 式	純正品
4	ポンプ回転計	1 式	
5	エンジン油温計	1 式	純正品
6	散光式赤色警光灯	1 式	ハイルーフ一体型で中央部に電子サイレンスピーカー
7	補助赤色点滅灯(フロントパネル又はバンパー)	2	大阪サイレン LFA-200 若しくは同等品 (保護プロテクター付)

番号	品名	数量	摘要
8	補助赤色点滅灯 (バンパー側面)	2	WHELEN VTXFC24 若しくは同等品
9	赤色点滅灯 (キャブ後部座席上部)	2	大阪サイレン LIFA-300 若しくは 同等品
10	側面赤色点滅灯	6	大阪サイレン LFA-200 若しくは 同等品
11	側面照明灯	4	大阪サイレン LIA-200 若しくは 同等品
12	後部赤色点滅灯及び照明灯	2	大阪サイレン LFIA-300 若しくは同等品 (保護プロテクター付)
13	電子サイレン	1 式	大阪サイレン TSK-D152MK-D1 若しくは同等品
14	モーターサイレン	1 式	
15	スイッチ照明灯	1 式	本文参照
16	ボックス内照明灯	1 式	本文参照
17	ポンプ室内灯	1 式	本文参照
18	計器灯	1 式	本文参照
19	隊員室内照明灯	1 式	LED製
20	後退警報器	1	音声式 (オンオフスイッチ付)
21	隊名標識灯	1 式	ハイルーフ両側面に設ける (緑色地に白文字)
22	電動サイレン	1	散光式赤色警告灯一体型
23	流量計	1 式	液晶モニター内蔵式 (放水口各 1 個)
24	積算流量計	1	液晶モニター内蔵式
25	キャブチルト装置	1 式	純正品 (電動油圧式)
26	作業灯 (サーチライト)	1 式	佐藤工業所 フラッシュボーイポール LED又は同等品
27	無線通話装置取り付け	1 式	本文参照 無線外部送受話機左右
28	吸管	1 式	10m
29	吸管離脱器	1	ヨネ ロープ引き上げ式消火栓媒介 (マジックテープ付き) PR-75
30	棒吸管	1 式	3 又は 4 本連結式棒吸管× 1 式

番号	品名	数量	摘要
31	吸管ちりよけ籠	2	上記セットに含む
32	吸管まくら木	2	プラスチックゴムバンド付
33	吸管ロープ	2	No.27のセットに含む
34	吸口ストレーナー	2	
35	吸管ストレーナー	2	岩崎製作所16SKG3P
36	中継口用媒介金具	2	ヨネ 65mm差込式メス
37	中継口用ストレーナー	2	
38	中継口用キャップ	2	ヨネ
39	消火栓開閉金具	1式	T字型×2 日之出パール(先35mm)×1
40	スピンドルドライバー	1	900mm
41	吸管スパナ	2	純正
42	管そう	2	ヨネ安全管鎗 65mm(短・標準型)各1本
43	ノズル	4	ヨネ NV65W・II×2 クアドラ 0.5MPa仕様 50mm×2、肩掛けベルト付
44	放口媒介金具	4	ヨネ ANS-65MC×2、 ANS-65×2 若しくは同等品
45	とび口	2	1.8m、グラスファイバー製
46	金てこ	1	長さ850mm以上
47	剣先スコップ	1	
48	電動ホースカー	1	
49	ホースカー油圧昇降装置	1式	
50	3連梯子	1式	関東梯子KHFL-CT87 TRC-02、TRS-50L
51	カギ付き梯子	1	関東梯子KHFL-CT31
52	手動梯子昇降装置	1式	3連梯子、カギ付き梯子用
53	車輪止	2	中型車用
54	消火器	1	自動車用
55	ポンプ工具	1式	グランドスパナ、冷却水ストレーナキャップ用スパナ等

番号	品名	数量	摘要
56	ホース (65mm)	30	YOKOI PRO STH キラリトライン 使用圧1.6Mpa、カラーホース (グリーン)、リング締め 若しくは同等品以上 両端末に「市行」文字記入
57	タイヤチェーン	1式	シングルタイプ バンド付き
58	分岐管	3	65×65/50 ×2 65×50/40 ×1
59	ホースブリッジ	2	CB450 65mm 1本用×2
60	照明器具	1式	本文参照
61	万能斧	1	トップマントビ又は同等品
62	掛矢	1	両端鉄環付
63	スタンドパイプ	1	ヨネ 不動PS-65F・800
64	特殊ノズル用ホース (50mm)	4	YOKOI PRO AR キラリトライン 使用圧1.6Mpa、カラーホース (グリーン)、リング締め 若しくは同等品以上 両端末に「市行」文字記入
65	空気呼吸器 重松製	4式	ライフゼム A1-12-CX 150度バルブ 保護カバー付 面体収納袋、アイピースカバー、カバーグラス付、 ドレーゲルボディガード1000付 ボンベ エア・ウォーター防災製 530C ⅢAZ (ボンベは予備を含め製造年月日を最新とし、全ての年月日を合わせること)
66	空気呼吸器用予備ボンベ	4	上記ボンベと同様
67	空気呼吸器取付装置	4式	助手席シート内蔵×1 幅広マジックバンド式×3
68	ホース背負器	1	FSジャパン 大型ホースバッグFS1型

4 装備品及び積載品 (補助対象外)

番号	品名	数量	摘要
1	消防章	1	台座付 (黒)

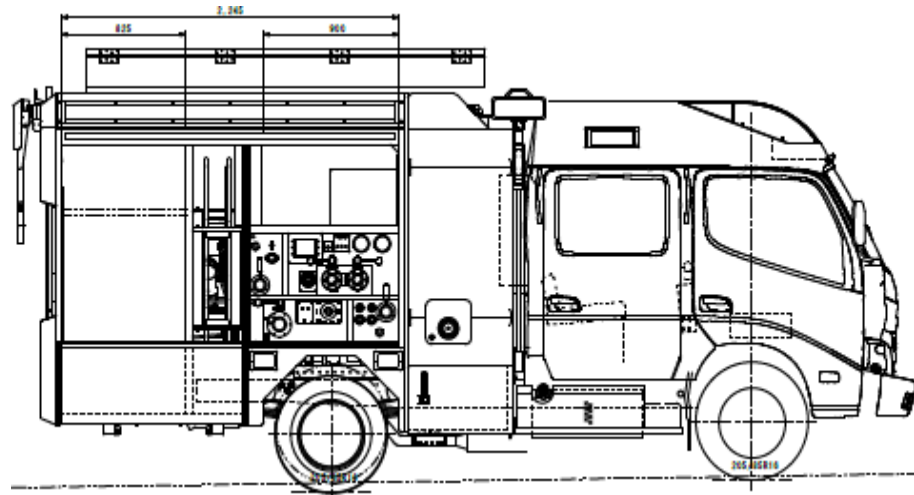
番号	品名	数量	摘要
2	車幅灯 (LED)	2	左右各2 スモール連動オンオフ
3	路肩灯 (LED)	1式	ポリカーボネズ又は保護カバー付 スモール連動オンオフ
4	ルーフネット	1式	キャブ内天井側面部
5	牽引用フック	1式	車両前後 (可能な限り)
6	大ハンマー	1	
7	バール	1	ミドリ安全 平バール 90cm
8	漏水防止バンド	10	Yバンド7枚 (色違い) ホースバンドOHI型3枚
9	短ホース	3	65mm×10m、65mm×2m 65mm×5m (ホースカラーグレー、リング締め)
10	中継用媒介金具	1式	ヨネ 65×65 (オスオス、メスメス) 65メス×50オス 65メス×40オス 50メス×40オス シャットオフボールバルブ×2
11	ボルトクリッパー	1	絶縁型ZBC 若しくは同等品
12	低反動泡ノズル	1	深田工業製 AFN-500VE
13	中発泡 泡ノズル	1	深田工業製 MEA-500P6
14	泡消火薬剤 (たん白泡)	10	深田工業製 エコアルコフォーム ポリ タンクに「市川市消防局」、 薬剤名、納入年を記載
15	泡消火薬剤 (合成界面活性 剤泡)	10	深田工業製 ハイフォーム ポリタンクに「市川市消防局」、 薬剤名、納入年を記載
16	訓練用合成界面活性剤泡	6	深田工業製 ポリタンクに「市川市消防 局」、薬剤名、納入年を記載
17	携帯拡声器	1	ウエットアカメガ TRM-10
18	携帯用投光器	3	ストリームライト099サバイバー IEC防爆ライト充電器セット充電器セット 予備バッテリー付

番号	品名	数量	摘要
19	熱画像カメラ	1式	FRIR K2
20	モバイル型サーマルカメラ	2式	SEEK Reveal PRO (消防仕様) 若しくは同等品
21	レスキューシザー	1	
22	安全チョッキ	5	セイバーズ FV-1 胸「千葉県 市川市消防局」 背 上「市川市消防局」 下「行徳ポンプ1」文字記入
23	隊名シール	100	行徳ポンプ1 大30、小70
24	バックアイカメラ	1式	市光工業 ドライブレコーダー一体型
25	救急セット	1式	手動式蘇生器コンビバックWCOM3 (収納バッグ付き) エイバン商事 救急セット OE45-10若しくは同等品 ワコー商事ファーストレスポonderバック A-900
26	ガス検知器	1式	MSA ALTAIR4X サンプリングチューブ7.5m (テフロン)、フロートプローブ、専用ケース付
27	伸縮式発光三角コーン	3	テイセン標準型「市川市消防局」文字記入 ウエイト付若しくは同等品
28	警戒棒	2	LED点滅式 電池10本付
29	車両充電装置	1式	ずぼら充電器 (防水マグネットコンセント、10m補助コード)
30	ドライブレコーダー	1式	市光製 STR-200 (バックアイモニター一体型) メモリー32GB×4枚
31	カーナビゲーション	1式	
32	ナイロン三つ打ちロープ	2	東京製綱M (白、緑各1) 若しくは同等品

番号	品名	数量	摘要
33	カラビナ、プーリー	13	KA-102WS×6 KA-12KS×4 PL-75R×3 若しくは同等品 カラビナバッグ (ウエストポーチ) 「市川市消防局」名入り
34	ホース (50mm)	16	YOKOI PRO AR キラリトライン 使用圧1.6Mpa、カラーホース (グリーン)、リング締め 若しくは同等品以上 両端末に「市行」文字記入
35	無線通話装置車及び両動態 装置現車からの積み替え	1式	無線機及びAVM 本文参照
36	エンジンカッター	1式	スチール TS420 加圧式給水タンク 鉄用・コンクリート用各2枚
37	チェーンソー	1式	スチール MS261 又は同等品 替え刃付き
38	ホースバッグ	2	FS JAPAN ホースバックⅢV2×1 ホースバッグⅡW50-60×1 市川市消防局名入り
39	プライバシーシート	3	プライバシーシートBIG×1 クイックプライバシーシートV3×2 市川市消防局名入り (受注者が作成)
40	LED警告灯	5	SAVERS LEDマグネット警告灯 または同等品
41	ドアストッパー	5	FS JAPAN ドアストッパー
42	耐電手袋	2	高圧用ゴム手袋
43	ロープバック	1	レスキュージャパンバケットタイプ大 または同等品

番号	品名	数量	摘要
44	簡易縛帯	2	FUJII DENKO R-430×1 ピタゴール×1
45	ブルーシート	10	厚手 3.6×5.4 (単位m)
46	消泡剤	1式	10リットル分
47	ボンベカバー	8	FS JAPAN 重松製ブルーネッカー用 レッド4.7リットル用
48	クーラーボックス	2	15リットル程度
49	ガソリン携行缶	2	10リットル 5リットル
50	特殊ノズル	1	ヨネ ボアテックスノズル G-フォース・セレクトアブルトリガー
51	担架	1	帝商 (折り畳み式)
52	流水用ヘルメット	4	NR2042W (ホワイト) 若しくは同等品
53	救命浮環	1	
54	フローティングロープ	1	30m、収納袋
55	布担架	1	ターポリン製 (足袋、ベルト2本付き)
56	チャップス	1	STIL ファンクションチャップス
57	ハイリフトジャッキ	1	ライズ ジャックメイトハイリフトセット
58	ステップチョーク	2	赤尾ステップチョークAセット
59	ニーパッド、エルボーパッド	4	アルタ スーパーフレックス
60	破壊器具	1	ライトレスキュー アックス・ハリガンセット ストラップ付き

消防ポンプ自動車 (CD-I型) 概要図



令和4年度
消防ポンプ自動車

呼称 市川行徳ポンプ1
配置場所 南消防署
行徳出張所

